

思春期の子育て応援します

非行・不登校のお子さんと親御さんとともに歩む船越教育相談室が

「元少年院の先生が教える～思春期の子育てお悩み解決本」出版



船越教育相談室プレスリリース

「うちの子はちゃんと育てられるだろうか」「うちの子は大丈夫だろうか」「子どものために何ができるだろうか」そんな声にお答えします。

子どもが壁に当たったとき

思春期の子どもが壁に当たったとき、まわりの大人は何ができるでしょうか。子どもを守るってどういうことなのでしょう。

非行・不登校をどう考えるか

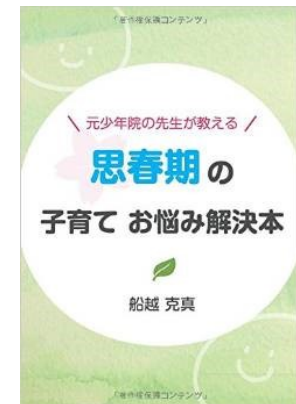
非行や不登校などは、子どもが壁に当たったときに起こる現象です。非行や不登校をどう考えればいいのか。この本では細かなケースに分けて説明しました。

「見捨てないこと」「寄り添うこと」

子どもが壁に当たったとき、子どもにとって必要なのは「味方になってくれる大人」です。味方になってくれる大人とは、自分を見捨てずいつも寄り添ってくれる大人です。この本では、見捨てないこと・寄り添うこととはどういったことなのか、詳しく書いています。

多くの大人たちに読んでほしい

「思春期の子どもは難しい」「最近の子どもはよくわからない」。そういう声をよく聞きます。もともと子どもは一人ひとり違う人間です。一人ひとりの子どもに寄り添い、個々の子どもにあわせたケアをする。それが子どものために必要です。多くの大人たちに、子どもは一人ひとり違うこと、違う相手に違うやり方を考える方法を知っていただきたいと思います。



アマゾン限定販売です。ご購入はこちらから

<http://amzn.to/19doqyQ>

1冊1200円です。

読者の声

先生からのアドバイス、一般論でなく今まで色々な先生からのアドバイス、一般論でなく今まで色々な立場の子供達や大人を導いてこられた船越先生だからこそこのメッセージ、強いメッセージでありながら、親として子育てに対してのプレッシャーを感じることなく心温まる思いで拝読いたしました。

親としての子供との接し方も、なんとなく漠然と感じていたことがなぜそうあるべきか理由がわかりやすく書かれていて、とても勉強になりました。

立場の子供達や大人を導いてこられた船越先生だからこそこのメッセージ、強いメッセージでありながら、親として子育てに対してのプレッシャーを感じることなく心温まる思いで拝読いたしました。

親としての子供との接し方も、なんとなく漠然と感じていたことがなぜそうあるべきか理由がわかりやすく書かれていて、とても勉強になりました。

著者紹介

船越克真

昭和41年7月6日生まれ

京都教育大学大学院修了

法務教官として関西の少年院で矯正教育を担当

退職後京都市立中学校常勤講師・特別支援学校常勤講師を経て

平成24年船越教育相談室を開設。非行・不登校の子どもと親御さんのための教育カウンセリングを行う。

本件のお問い合わせは船越教育相談室：船越克真まで。電話・メールとも24時間365日対応します。

〒600-8421京都市下京区綾小路通烏丸西入童侍者町161綾小路オフィス307号室

tel:075-344-1185 E-mail:k-funakoshi@funakoshikyoiiku.jp

ホームページ： <http://funakoshikyoiiku.jp>